

第7回子どもの まち・いえワーク ショップ提案コンペ



写真：親と子の都市と建築講座2016「BOO FOO WOO CHALLENGE - 3棟のこぶた基地-」の様子

「建築」は、次世代の子どもたちの教材になるはずです。そこで、建築をテーマにした子ども向けのワークショップの企画を募集します。

大学生が大学で建築を学ぶとき、その多くの時間はキャンパス内でテキストやスライドを目にしていることでしょう。子どもに建築を伝えるとき、目的と方法はきっと異なるはず。建築を伝えるだけではなく、建築を使って別の何かを伝えるのかもしれませんが。若いみなさんの企画する建築教育ワークショップを実現することで、まちやいえをどのように捉え、どのように変化させ、子どもたちとどのように楽しみたいと感じているのかを知りたいと考えています。

2011年から始まった本提案コンペでは、最優秀賞企画は、子どもたちが楽しみながら学ぶワークショップ「親と子の都市と建築講座」として開催してきました。今年度も、最優秀賞に選ばれた企画を、提案した学生たちに実際に行ってもらいます。そのため、自分たちで実施するという意欲と実現可能性も求めます。ワークショップ未経験者からの応募も歓迎します。みなさんの企画を具現化できるこのチャンスに、ぜひたくさんのご応募をお待ちしています。

また、今年度も公開審査会後の懇親会を実施します。ぜひ、審査委員の先生方や子ども教育事業部会のメンバー、さらに、同年代の意欲ある学生たちと交流し、みなさんにとってより刺激を受ける機会になることを期待しています。

第7回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ 募集要項・スケジュール等

【スケジュール】

2017年6月6日(火) 企画募集締め切り
2017年6月17日(土) 公開審査会
2017年6月～秋頃 講座の企画・準備
2017年秋頃 「親と子の都市と建築講座2017」開催

【応募要項】

《応募対象》

5名以上からなる学生団体。(大学院・大学・専門学校等、ワークショップ経験有無は不問)
代表者を1名選出し、事務局と連絡がやり取りできる状況であること。

《応募方法》

テーマを掲げて「子どものまち・いえワークショップ」を企画し、A3判1枚(縦使い横使いは自由)にまとめる。

下記の内容は記載しないこと。

企画タイトル・概要・実施予定日時・実施場所(詳細下記)・参加者予想規模・当日スケジュール・スタッフ配置・準備物・準備スケジュール・予算など、ワークショップを実施するために必要な情報を明記すること。

団体メンバー情報(代表者氏名・所属・連絡先住所・電話番号・メールアドレス、団体メンバー全員の氏名・所属)と6月17日(土)公開審査会後に行われる【懇親会】(右面参照)への出欠を『応募票』に記入したうえで、別添すること。

ワークショップ実施にあたっては実行委員会を設立し、最優秀賞プログラムを軸に実行委員会が準備・運営を行うので、スタッフ配置については団体人数を越えて想定しても良いものとする。

参加者募集(広報)については、子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会が担当が、企画団体でも参加者募集を行ってください。

《企画条件》

テーマは特に絞らないが、『まち・いえ』、すなわち住環境に関わる企画とすること。

企画実施日については、2017年秋頃の土曜・日曜・祝日のいずれかの日程で行うこととする。実施日は、審査会後に調整を行う。

想定実施場所としては、東京近郊とする。

なお、子ども教育事業部会では、次の2箇所のいずれかを実施場所として希望する場合、実施フィールドの確保を支援する。

晴海トリトンスクエアおよびその界限、建築会館イベント広場
実際に行うことが決定したプログラムに対しては、本会より10万円をワークショップ実施費用として用意する。

予算10万円にはスタッフの交通費や道具の郵送料等も含む。

実行委員会には子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会委員も参画し、実施に向けてサポート・アドバイスを行う。また、実施プログラムの著作権については、応募団体と子ども教育支援建築会議子ども教育事業部会に帰属するものとする。

最優秀賞作品およびコンペに応募のあった全作品について、委員会HPに掲載し、公開する場合がありますので、ご了承ください。

《応募締切》

2017年6月6日(火) 郵送または持ち込みで17時必着)

《結果発表》

2017年6月17日(土)に「第7回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」を実施します。企画発表会後に公開審査会を行い、その場で最優秀賞を決定します。

企画発表会・公開審査会当日の詳細については、後日応募代表者にご案内します。

《応募先》

日本建築学会事務局「子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」係
〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

TEL 03-3456-2019 E-mail mishima@aij.or.jp

【作品展示】

以下の期間において、全応募作品を展示する。

《期間》

2017年6月10日(土)～17日(土)

《場所》

建築博物館ギャラリー(東京都港区芝5丁目26番20号)

【企画発表会・公開審査会】

当日はポスターセッション形式で公開審査会を実施する。

ポスターセッションの際は必要に応じて、模型等の説明資料を持参可能とする。

《日時》

2017年6月17日(土)13:30～

《場所》

建築会館イベント広場(東京都港区芝5丁目26番20号)

《審査委員》

- ・審査委員長:山梨知彦(建築家、日建設計常務執行役員)
日本を代表する組織設計事務所、神保町シアタービル・乃村工務社本社ビル・木材会館・ホキ美術館・ソニーシティ大崎など、注目を集める作品の発表を続ける建築家。
- ・植田実(編集者、建築評論家)
「都市住宅」「GA HOUSES」「住まいの図書館出版局」編集長などを歴任し住まいとまちに対峙しつづけて、「住宅課題賞」審査員長をはじめ学生に熱い眼差しを向ける編集者。
- ・中津秀之(関東学院大学工学部建築学科 准教授)
安全で創造的な子どもの遊び空間をはじめ、設計実務・展示・ワークショップなどを通じて、生活環境・都市環境に提言を続けるランドスケープ・アーキテクト。
- ・角館政英(照明家、ぼんぼり光環境計画代表)
「ふじようちえん」をはじめとした数多くの幼児施設のプロジェクトに関わり、全国各地で住民の地域活動に繋がるワークショップにも経験豊かな「あかり博士」。
- ・遠藤幹子(建築家、マザー・アーキテクチャ、o e mikkiko)
オランダでの留学・活動を経て、展覧会・ワークショップ・テレビ番組のスタジオセットなどでも成果を残し、子どもと建築の関わり実践を重ねている建築家。

【懇親会】

審査委員や子ども教育事業部会委員も参加する予定です。

《日時》

2017年6月17日(日)17:30～19:00

《場所》

建築会館イベント広場(東京都港区芝5丁目26番20号)

《参加費》

当日500円/1人お支払いいただきます。左面《応募方法》の団体メンバー情報と共に、懇親会への出欠をご連絡ください。

【過去の最優秀賞作品の紹介】

子ども教育支援建築会議のfacebookを通じて、事業やイベント等、さまざまな内容を発信しています。昨年実施されたコンペの様子も公開しています。
<https://www.facebook.com/rakurakukenchiku>



【参 考】

- 1)日本建築学会子ども教育支援建築会議ホームページ
「楽々建築・楽々都市」<http://news-sv.aij.or.jp/kodomo/>
- 2)文献「楽々建築・楽々都市“すまい・まち・地球”自分との関係を見つけるワークショップ」日本建築学会編/技報堂出版

